IQ1202 取扱説明書第 1 版お詫びと訂正

IQ1202 ダイブコンピュータ取扱説明書第 1 版に以下のような誤表記がありました。
お詫びして訂正させていただきます。お手数をおかけいたしますが、「ログデータとヒストリーデータに関するご注意とお願い」と併せてご確認いただきますようお願いいたします。

ダイブヒストリークリア／潜水本数訂正機能（P. 55 補足）

A) ADJUSTボタン

①時計モード及びサーフィスモードから ~~C) LOG ボタン~~長押しして、各種設定の基本操作画面（P. 18）を表示します。L）LIGHT ボタンを押しながら、A）ADJUST ボタンと B）MODE ボタンを同時に押すとピッと音が鳴って、ヒストリーデータが全てクリアされます。

②ダイブヒストリー画面を表示している時に、L）LIGHT ボタンを押しながら、A）ADJUST ボタンと C）LOG ボタンを同時に押すと総潜水本数が点滅表示になります。C）LOG ボタンか D）PLAN ボタンで潜水回数を増減します。最後に A）ADJUST ボタンを押すと更新が完了します。

54

ログデータとヒストリーデータに関するご注意とお願い

製造元及び弊社では出荷前に製品をチャンバーに入れて試験をすることがあります。そのため、使用時にあらかじめログデータやヒストリーデータに記録が残っている場合がありますのでご了承願います。

尚、ログデータはクリアすることはできませんが、ヒストリーデータはクリアすることができます。（P.54 参照）（ ※ログデータは 30 本潜水すると一番古いデータが消去されて新しいデータに書き換えられて行きます。）

ヒストリーデータをクリアすると最新のログ番号が 00 になり、それ以降のログ番号は新たに加算されて行きます。また古いログ番号も 00 を起点により古いものほど番号が大きく表示されますのでご注意ください。

例:5, 4, 3, 2, 1 とログ番号が付いていた状態でヒストリーをクリアすると、それまでのログ番号は00, 1, 2, 3, 4 に変わり、最新の潜水から 1, 2, 3,～と番号が加算されていきます。

よって、ご購入時にはヒストリーをクリアして、総潜水本数をこれまでのご自分の経験本数に合わせられることをおすすめします。そうすれば、例えば経験本数が 178 本の方は、次のログ番号は179 本となります。